

平成 17 年 11 月 7 日 (月)

平成 17 年度 情報処理軽井沢セミナーレポート

広島大学図書館
首東 誠

1. 作成した (取り組んだ) ポータル名もしくは課題
 - (1) GETA の実装
 - (2) DSpace の実装

2. 1 の概要
 - (1) 広島大学図書館の所蔵データの一部を用いて GETA を実装し、OPAC とリンクさせる。
 - (2) DSpace のインストール

3. 演習とその成果 何を計画し、実装して、何ができたか。
 - (1) 演習第 1 日
GETA を実装するためのソフトウェアのインストール
 - (2) 演習第 2 日
GETA に用いるためのデータの加工
 - (3) 演習第 3 日
GETA のデータと OPAC をリンクさせる
DSpace のインストール

4. 研修で学んだ技術及び知識
GETA、OAI-PMH、DSpace
Google で検索すると色々ヒットします。

5. 事前準備として必要と思われるもの
 - (1) Linux がインストールされたノートパソコン
自前のものを用意することをお勧めします。
 - (2) Linux の知識 (基本コマンドの習得、Emacs の知識)
作業の効率に反映されます。
 - (3) Perl (PHP)、XML の知識
作業の効率、内容の発展に反映されます。

6. 今後の課題（職場で更に調査する必要のあるもの等）

- (1) GETA のより深い知識の習得
- (2) DSpace、Eprints など機関リポジトリのソフトウェアのより深い知識の習得

7. 今後の計画（実際のポータル構築計画等）

- (1) ひとまとまりの所蔵データを用いて GETA のテスト版を公開したい。
- (2) 今年度中に広島大学にて機関リポジトリが構築される。

8. 演習の感想

武蔵嵐山での缶詰の数日間は、私にとって大変有意義で思い出深いものになりました。色々な用語を耳にしたことはあっても実際にプログラムなどをしたことがない状態での参加でしたので、受講が決まってからセミナー最終日まで不安な日々でしたが、講師の方々に親切丁寧にご指導頂き他の受講者にも助けられ、何とか無事に終了することができました。

NII の研修係の方々にもメールでのやり取りから実際のセミナーまで色々とお世話になりました。

この場を借りて心より厚くお礼申し上げます。

今回の研修で得た知識、経験を今後に活かしたいと思います。

9. 備考、その他

図 1 GETA

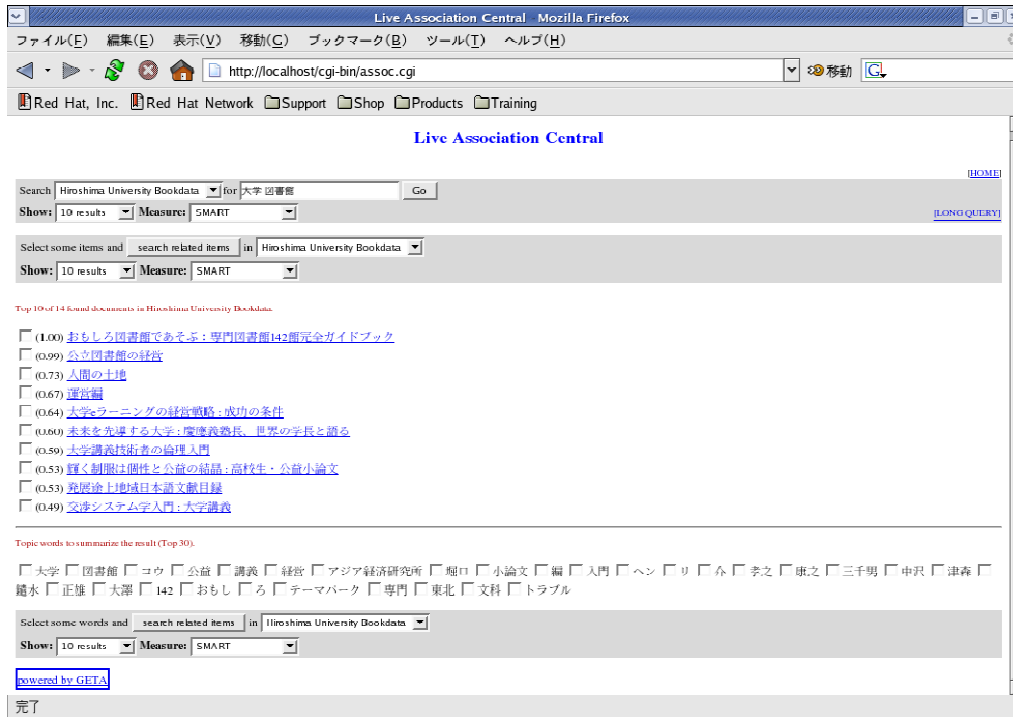


図 2 広島大学図書館 OPAC



☒ 3 DSpace

